

科目名 (英)	リハビリテーション医学 Rehabilitation Medicine	必修 選択	必修	年次	3年次	担当教員	
学科・コース	鍼灸科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 2	開講区分	(通年科目)前期
【授業の学習内容】							
リハビリテーションは広い分野から成り立っており、医療的なサポートの中隔をなす。そのリハビリテーション医学・医療について正しい知識をもち、鍼灸施術の一助になるようにする。リハビリテーションの理念と方法や、各疾患のリハビリテーションなどの各論及び、リハビリテーション理解のために運動の仕組みや重要な部分である理学療法・作業療法・言語療法についても体系的に学習する。							
【到達目標】							
目標①運動発達、言語聴覚療法に対するリハビリテーションについて答えられる。 目標②高齢者・地域リハビリテーションについて答えられる。 目標③脳卒中・片麻痺、脊髄損傷、運動器疾患に対するリハビリテーションについて答えられる。							

授業計画・内容	
1回目	リハビリテーションと障害 リハビリテーションを支える基本理念、障害と生活の捉え方、リハビリテーション医学の概念、リハビリテーション医学とチームアプローチについて説明できる
2回目	リハビリテーション医学と医療 リハビリテーションの進め方、地域ケアと地域リハビリテーションについて説明できる 高齢化社会の特性、障害高齢者数、対象疾患など統計的状况を説明できる
3回目	障害の評価 心身機能・身体構造の評価、活動・参加の評価 ADL、歩行の評価について説明できる
4回目	障害の評価 廃用症候群の評価、運動麻痺(弛緩性麻痺・痙性麻痺)の評価について説明できる
5回目	障害の評価 運動年齢・失行失認・心理テスト 運動発達・評価法、高次脳機能評価、心理的評価について説明できる
6回目	障害の評価 摂食嚥下障害の評価について説明できる
7回目	医学的リハビリテーション 理学療法とは 理学療法の意義、各種運動療法、物理療法について説明できる
8回目	医学的リハビリテーション 作業療法とは 作業療法の種類、特徴について説明できる
9回目	医学的リハビリテーション 言語聴覚療法とは 失語症、構音障害、言語発達障害、摂食嚥下障害について説明できる
10回目	医学的リハビリテーション 補装具療法とは 装具・杖・自助具・車椅子・義肢について説明できる
11回目	医学的リハビリテーション リハビリテーション看護、ソーシャルワーク、リハビリテーション工学とは
12回目	脳卒中のリハビリテーション 脳卒中の評価、急性期・回復期のリハビリテーションについて説明できる
13回目	脳卒中のリハビリテーション 言語療法、リスク管理、ホームプログラムとアフタケアについて説明できる
14回目	脊髄損傷のリハビリテーション 脊髄損傷とは、脊髄損傷による機能障害、について説明できる
15回目	脊髄損傷のリハビリテーション 脊髄損傷とは 急性期、回復期のリハビリテーション、社会復帰のリハビリテーションについて説明できる
準備学習 時間外学習	授業に該当する範囲の教科書の熟読をしてください。リハビリテーションは他科目との複合的な分野である為、解剖学・運動学・臨床医学各論の復習をし理解を高めておいてください。
評価方法	成績の評価は、各科目の『試験』の点数で100点満点とする。 『試験』には科目試験や中間試験、小テスト等の臨時試験などが含まれる。
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	
教科書:リハビリテーション医学 第4版 土肥 信之 著 医歯薬出版	

科目名 (英)	リハビリテーション医学 Rehabilitation Medicine	必修 選択	必修	年次	3年次	担当教員
学科・コース	鍼灸科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 2	開講区分 曜日・時限
<b>【授業の学習内容】</b> リハビリテーションは広い分野から成り立っており、医療的なサポートの中隔をなす。そのリハビリテーション医学・医療について正しい知識をもち、鍼灸施術の一助になるようにする。リハビリテーションの理念と方法や、各疾患のリハビリテーションなどの各論及び、リハビリテーション理解のために運動の仕組みや重要な部分である理学療法・作業療法・言語療法についても体系的に学習する。						
<b>【到達目標】</b> 目標①呼吸器疾患や心疾患に対するリハビリテーションについて答えられる。 目標②切断・骨関節疾患に対するリハビリテーションについて答えられる。 目標③関節リウマチや末梢神経障害に対するリハビリテーションについて答えられる。 目標④姿勢、身体各部の運動、歩行などの異常について答えられる。						

授業計画・内容	
16回目	切断のリハビリテーション 切断の原因と分類、合併症、リハビリテーション、アフタケアについて説明できる
17回目	小児のリハビリテーション 小児のリハビリテーションの特徴、脳性麻痺のリハビリテーションについて説明できる
18回目	骨関節疾患のリハビリテーション 上肢、頸腕障害の評価、リハビリテーションについて説明できる
19回目	骨関節疾患のリハビリテーション 腰部、下肢障害の評価、リハビリテーションについて説明できる
20回目	骨関節疾患のリハビリテーション 下肢障害・スポーツ傷害の評価、リハビリテーションについて説明できる
21回目	関節リウマチのリハビリテーション 評価、リハビリテーション、生活指導について説明できる
22回目	末梢神経障害・パーキンソン病リハビリテーション 原因、評価、リハビリテーション、特徴、生活指導について説明できる
23回目	呼吸器疾患・心疾患のリハビリテーション 評価、リハビリテーション、リスク管理について説明できる
24回目	運動学の基礎 関節と運動の力学、姿勢とその異常について説明できる
25回目	運動学の基礎 運動路と感覚路、反射と随意反射について説明できる
26回目	身体各部の機能 脊柱の機能、肩甲帯・肩の構造、機能、異常について説明できる
27回目	身体各部の機能 肘と前腕、手と手指の構造、機能、異常について説明できる
28回目	身体各部の機能 骨盤と股関節の構造、機能、異常について説明できる
29回目	身体各部の機能 膝・足関節の構造、機能、異常について説明できる
30回目	身体各部の機能 正常歩行と異常歩行について説明できる
準備学習 時間外学習	授業に該当する範囲の教科書の熟読をしてください。リハビリテーションは他科目との複合的な分野である為、解剖学・運動学・臨床医学各論の復習をし理解を高めておいてください。
評価方法	成績の評価は、各科目の『試験』の点数で100点満点とする。 『試験』には科目試験や中間試験、小テスト等の臨時試験などが含まれる。
受講生への メッセージ	
<b>【使用教科書・教材・参考書】</b>  教科書：リハビリテーション医学 第4版 土肥 信之 著 医歯薬出版	